

Topics & Information

各自治会や地域にお住まいの方々からご相談やご要望をいただき、市の担当課等と協議の上、対応させていただいた事案の一部を紹介いたします。関係地権者の方をはじめ、ご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。



市道の修繕（糀谷）



横断歩道の再塗装（三ヶ島1丁目）



防犯灯の設置（三ヶ島児童クラブ）



市道の修繕（堀之内）



市道の修繕（林2丁目）



市道の修繕（和ヶ原1丁目）

【シェアサイクルの実証実験がスタート！】

所沢市は、Open Street株式会社と協定を締結し、昨年11月30日より市内公共施設等30か所において、シェアサイクル実証実験を開始しました。同社は、運営サービス「HELLO CYCLING（ハローサイクリング）」を提供しており、本市もこのサービスを採用することで、近隣では川越市、朝霞市、さいたま市、小平市等との相互乗り入れが可能になっていきます。なお、シェアサイクルの導入については、私も平成27年3月定例会の一般質問で取り上げた経緯があります。



所沢市議会 3月定例会の予定

2月18日(木)～
3月29日(月)

※正式な会期日程は、
2月10日(水)に
決定いたします。

【プロフィール】

- 1970（昭和45）年2月3日、所沢市生まれ。
- 1993年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。
- 社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー（CFP認定者）・防災士。
- 2019年4月、所沢市議会議員選挙にて当選（連続4期）。
市議会議長（第64代）、市議会副議長、市監査委員（議員選出）などを歴任。
現在、建設環境常任委員会委員、議会改革に関する特別委員会委員。
- 所沢明生病院地域評議員・日本防災士会地方議員連絡会会員。



ご意見・お問い合わせ等 090-8115-3715

[Homepage] www.oginoyasuo.com
[E-mail] tokorozawa@oginoyasuo.com

●編集・発行／荻野泰男事務所 〒359-1166 所沢市糀谷1746-1

所沢市議会議員【無所属】

おぎのやすお 荻野泰男

市政リポート Vol.79

（納得できる所沢市政を!!） Feb, 2021

Ogino Yasuo Tokorozawa Shisei Report



（ワクチン接種体制の確保に向けた予算可決）

令和2年所沢市議会第4回定例会は11月30日から12月21日まで開催され、投票により議決に至らなかった教育委員会委員任命の同意を除き、一般会計補正予算をはじめとする市長提出議案がいずれも原案のとおり可決・同意されました。

主な議案の内容としては、所沢市観光情報・物産館整備事業、粗大ごみ処理手数料収納事務委託事業、個人番号カード交付促進事業などに係る補正予算が計上されたほか、国民健康保険税条例の一部改正、各児童クラブ・元町地下駐車場等の指定管理者の指定、上藤沢・林・宮寺間新設道路の3工区部分の市道路線の認定、人事院勧告に準拠した市職員等の期末手当の引き下げに係る議案などが提出されました。

最終日には新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に係る補正予算が追加議案として上程され、全会一致で可決されました。

【主な議案、一般会計補正予算等の概要について】

1. 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 (事業費総額 176万円)

●新型コロナウイルスワクチンが実用化された場合に迅速かつ適切にこれを接種するため、国が費用を負担し、早急に市民健康管理支援システム（乳幼児健診、がん検診等の受診歴の管理および対象者の管理を総合的に行うシステム）の改修を行うものです。

●市としては市民への接種勧奨や個別通知（クーポン券の送付）のほか、医療機関との委託契約や集団的な接種を行う場合の会場の確保など接種実施体制の整備、相談体制の確保等の役割を担うことになります。

●厚生労働省によると、接種の優先順位としては大まかに医療従事者等、高齢者、高齢者以外で基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者への接種ができるようになるとされています。また、いずれのメーカーのワクチンでも2回の接種が必要になります。



2. 所沢市観光情報・物産館 整備事業

●旧コンポストセンター跡地にPFI手法を用いて整備が進められている「所沢市観光情報・物産館」の建設工事について、擁壁の設置に当たり想定できなかった地盤改良および擁壁の仕様等の変更に伴う設計内容の見直しの必要が生じたことから、**契約金額を変更する**ものです。

●変更後の契約金額は、約9億4933万円(6710万円増)で、契約の相手方は、平岩建設株式会社になります。

●なお、同施設は**令和3年5月**の開業を予定しています。



荻野泰男 の 一般質問 (12月11日) から



空き家対策に固定資産税の減免を！

Q.

住宅を撤去し更地にすると住宅用地特例がなくなり、土地に係る固定資産税等が高くなることが、空き家等が放置される要因の一つといわれている。深谷市などでは、老朽化して危険な空き家を取り壊した場合に一定期間、固定資産税等を減免する制度を実施している。これらの自治体の動きについて、本市としてどのように受け止めているのか？

A.

本市と深谷市などでは若干環境が異なると考えている。課税事務にあたっては正確性と公平性の確保を第一としつつ、新たな制度を設けた自治体については、その成果などの情報収集に努めています。



宅配便の再配達を削減するための取り組みを！

Q.

宅配便の再配達を抑制・削減するため、市民に対する積極的な情報発信を行うなど、市としても取り組みをさらに進めるべきではないか？



A.

宅配物の再配達の抑制は輸送に伴う温室効果ガスの削減等に一定程度の効果があると理解している。市民が取り組めることとしては、置き配サービスやオープン型宅配ボックスの利用のほか、受け取り日時の指定などがある。

市としても日中の在宅時間が比較的短い若者世代を中心にSNS等を通じて発信していくとともに、荷物はできるだけ1回で受け取ることについて積極的な周知啓発を進めていきたい。

※今回的一般質問では、三ヶ島地区乗合ワゴン運行事業、老人福祉センター等の入浴施設の再開、不用になったランドセルの仲介、金属類の盗難防止の注意喚起等についても取り上げました。

3. 粗大ごみ処理手数料収納事業 委託事業

(事業費総額 100万2千円)

●粗大ごみ処理手数料については、市民の利便性向上のため、資源循環推進課をはじめとした市の各窓口や収納事務を委託した市内のコンビニエンス・ストアで粗大ごみ処理手数料納付券を販売し、料金を収納しています。

●新型コロナウイルス感染症の影響で在宅時間が増加したことに伴い、粗大ごみ処理手数料納付券の販売が当初見込みを上回り、納付券の印刷および収納事務に係る予算額に不足が見込まれるため、その費用について増額するものです。



4. 国民健康保険税条例の一部改正

●国民健康保険税の賦課限度額について、財政状況を踏まえ、国民健康保険運営協議会へ諮問し、答申を尊重の上検討した結果、**令和3年度分から賦課限度額を変更**するため、所要の改正を行います。

●改正の概要は、医療給付費分を61万円から63万円、介護納付金分を16万円から17万円にそれぞれ引き上げ、賦課限度額の合計を96万円から99万円とするものです。

●この改正により影響を受ける世帯数は1,046世帯であり、増収額は約2,000万円と見込まれています。

5. 元町地下駐車場の指定管理者の指定

●元町地下駐車場については、前指定管理者（日本駐車場工学研究会）の財務状況の悪化による指定の取消しに伴い、令和元年12月より市長が管理を行っているところ、令和3年度以降について**新たな指定管理者を指定**するものです。

●新たに指定管理者となる団体は、**サイカパーキング株式会社**（東京都中央区日本橋小網町）で、指定期間は**令和3年4月1日～令和8年3月31日までの5年間**となります。



成人眼科検診の積極的な受診勧奨を！

Q.

都内の自治体をはじめ、県内ではふじみ野市が眼科検診に対する助成を実施している。費用の助成の検討を含め、成人眼科検診の受診を積極的に勧奨することはできないか？



A.

本市では成人眼科検診に特化した取り組みは行っていない。国民健康保険に加入している40歳から74歳までの方を対象とした特定健康診査では、医師の判断により眼底検査を実施している。眼底検査により糖尿病性網膜症や緑内障等の疾患を早期に発見し、治療につなげることができます。まずは市民の皆様に検診を受けることの重要性を伝えていきたいと考えている。保健センターでの健康相談においても勧奨していきたい。

剪定枝の資源化と有効活用を！

Q.

他の自治体では剪定枝の粉碎機を希望する市民に貸し出す取り組みを行っている事例がある。本市においても関係機関等との連携も含め、剪定枝の資源化や有効活用について積極的に取り組むことはできないか？



A.

市ではみどり自然課の緑地管理業務で発生した剪定枝の一部を長瀬町にある木材チップ加工業者に売り払い、資源化を行っている。排出抑制の観点から剪定枝の活用の取り組みをホームページ等で紹介するとともに、周辺自治体との連携や民間資源化施設の活用を通じて、ごみの減量、資源の有効利用に努めています。



※右のQRコードから議会中継のサイトにアクセスされると、荻野泰男の一般質問の動画をご覧いただけます。